



第16回(2024年)

高知オレンジリボンキャンペーン 活動報告書

ポスターデザイン募集



オレンジリボン賞

高知県立岡豊高等学校

1年 大崎 成珠 さん



2025年度に使用するオレンジリボンキャンペーンのポスターデザインを県下の高校生を対象に募集しました。14点の作品が寄せられ、入賞と入選作品が選ばれました。

オレンジリボン賞に輝いた作品は、児童虐待防止の啓発ポスターとして採用されます。

また、入賞・入選作品は、啓発グッズのデザインに使用されます。

実行委員長賞

高知県立岡豊高等学校

3年 松本 結菜 さん

入選

高知県立高知丸の内高等学校

3年 上村 晴菜 さん

高知県立岡豊高等学校

3年 溝渕 優月 さん

高知県立室戸高等学校

1年 川口 汐音 さん



●応募校数：4校 ●応募数：14点

たくさんのご応募
ありがとうございました。

講演会



テーマ「孤立と虐待のない街づくり

～傷つく子どもを支えるためにできること～」

講師 石川 結貴 氏 (ジャーナリスト)

日時 2024年11月30日(土) 14:30～16:30

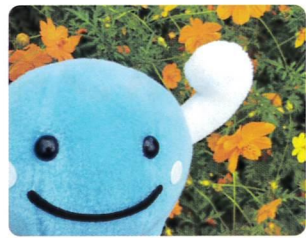
会場 高知市春野文化ホール ピアステージ 参加者:53名

〈感想〉

- 実際にあったケースを交えてお話してくださって、とても良い学びになりました。実際のケースは自分は全く知らないし、見たこともないと思っていたのですが、具体的に教えていただいて自分の知見が広がりました。(学生)
- 地域の支援に関わる仕事をしていますが、もっと自分にできること、たくさんの可能性があると思いました。やってみようと思えました。素敵なお話が聴けて大変良かったです。(福祉関係)
- 虐待や貧困で困っている子だけでなく全ての子どもが安定的な居場所があったり、自分でも何かできるとする実感や体験があることで自己肯定感等にもつながっていきけるのだと感じました。私自身も自分ができていることを考えていきたいです。(保育士)



SNS企画「オレンジを探そうや!」



児童虐待防止への思いをつなぐため、SNSでハッシュタグ「#高知オレンジリボン2024」、「#オレンジを探そうや!」をつけて、みなさんが見つけたオレンジ色の物の写真とともに子育て応援メッセージを募集し、45件の投稿と427件の反応が寄せられました。今年は親子への告知イベントやオレンジリボングッズのプレゼント企画も行い、大好評でした。

ご賛同いただいたみなさま、ありがとうございました。

ナツボラ2024

夏のボランティア体験として、2日間にわたり手作りオレンジリボンを作りました。

8月7日【四万十市会場】9名、8月14日【高知市会場】69名（いずれも中高生、一般の方）の皆様のご協力で、約2,000個のオレンジリボンができました。リボンは、キャンペーンの啓発に活用させていただきます。



啓発を支えるグッズたち



ポロシャツ

ピンバッチ
(くろしおくん)

缶バッチ



クリアファイル

ボールペン

タオル



ポケットティッシュ



不織布バッグ(ネイビー)



あきやまひろみ
コラボブローチ

高知城のライトアップ

11月の児童虐待防止推進月間にあわせて、11月1日～11月11日の期間、高知城がオレンジ色にライトアップされました。



第26回人権啓発フェスティバル『こころんフェスタ』

高知県・高知県教育委員会・公益財団法人高知県人権啓発センター主催の人権啓発事業に参加し、児童虐待防止の啓発活動を行いました。



高知龍馬マラソン2025

高知龍馬マラソンでは、およそ10,000人のランナーの皆様に「子ども虐待予防の輪」を願ったステッカーをお配りし、当日は多くの方々につけて走っていただきました。



オレンジリボンキャンペーン2024の活動

- 7月19日～12月12日 …… ポスターデザイン募集
- 8月 7日・14日 …… ナツボラ2024
- 10月 1日～12月31日 …… SNS広告配信
- 11月 1日～11月11日 …… 高知城ライトアップ
- 11月 1日～11月29日 …… 高知県庁児童虐待防止横断幕掲示
- 11月 1日～11月30日 …… SNSイベント『オレンジを探そうや!』
- 11月30日 …… 石川結貴氏 講演会
- 12月 8日 …… 第26回人権啓発フェスティバル『こころんフェスタ』
- 2月 8日・9日 …… 子育て応援団すこやか winter
- 2月16日 …… 高知龍馬マラソン2025
- 3月 9日 …… ポスターデザイン入賞・入選表彰式

オレンジリボンキャンペーンとは?

オレンジリボンキャンペーンの趣旨

児童虐待の相談件数は増加の一途をたどっており、コロナ禍により家庭内で過ごす時間の増加や経済的な問題、交流機会の減少により孤立した中で、事態は深刻化しており、様々な問題が子どもたちの育ちに影響を及ぼしています。子どもや子育て家族を社会や地域が守るために、私たち一人一人何ができるのか? みんなで一緒に考え、共に行動を起こしていきたいと思っています。

このため高知オレンジリボンキャンペーン実行委員会では、子ども虐待のない、子育てにやさしい地域づくりに取り組んで16年目を迎えます。児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンをベースに、家庭や学校、地域など、社会全般にわたり児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られることを目的として、オレンジリボンキャンペーンを行っています。

オレンジリボンキャンペーンの始まり

2004年9月、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から思川へ投げ込まれ亡くなるという痛ましい事件がありました。「二度とこのような事件が起こらないように」という願いから、オレンジリボンキャンペーンが始まりました。

オレンジ色は虐待を受けた子ども達が選んだ色です。オレンジリボンのシンボルには「お話ししましょう、気持ちを分かち合いませんか。自分の気持ちに気づくことは子ども虐待の予防につながります」というメッセージが込められています。

高知県では

2009年より高知県内各市町村、地域の方々、企業や団体にご協力をいただき、社会福祉法人高知県社会福祉協議会、高知県児童養護施設協議会、高知県児童家庭支援センター協議会が中心となってオレンジリボンキャンペーン実行委員会を結成し、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに取り組み、今年で16年目になりました。

子ども虐待のない子育てにやさしい地域社会を築くために、一人でも多くの方々に虐待防止に関心を持っていただけるよう、これからも活動に取り組んでまいります。

第16回(2024年)高知オレンジリボンキャンペーン活動報告書 実行委員長挨拶

2024年の「高知オレンジリボンキャンペーン」が、数多くの県民の皆様のご参加のもと、実施できましたことを心より感謝申し上げます。

今年で16年目を迎えましたキャンペーン活動では、11月の「秋のこどもまんなか月間」を中心に、一人でも多くの方々に、児童虐待の問題に対する深い理解と関心を持っていただけるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動の集中的な実施に取り組みしました。

一方で、残念なことに昨年度の本県における児童虐待に係る相談対応件数のうち、虐待と認定された件数は448件と依然として高い水準で推移するなど、こどもたちを取り巻く環境は、新型コロナウイルス禍の影響などとも重なり、その厳しさを一層増してもおります。

こうしたなか、政府では昨年5月に、今後取り組むべきこども政策を一元的に示す「こどもまんなか実行計画2024」を毎年改定するアクションプランとして策定し、地方自治体の定める「こども計画」を強力に後押しすることを表明するとともに、8月には、社会全体でこども・子育て世帯を応援する気運を醸成するための実行計画の策定に向けた基本方針を示されています。

本県においても、全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指すという「こども基本法」の目的にも沿って、こどもたちや養育者等の意見などを反映させた「こども計画」の策定が進められているところです。

計画の中では、虐待を受けているこどもや支援を必要としている家庭を早期に発見し、適切な保護や支援につなげるため、相談支援体制の充実・強化を図るとともに、関係機関などとの連携・協力のもと、こどもを社会全体で見守り、課題の解決を図るための取組を推進することとしており、こどもを大切に社会の実現に向けて大いに期待も膨らむところです。

こども基本法が目指している全てのこどもが、幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」は、全ての人が生きやすい社会でもあり、私たち大人には、自らが、当事者意識をもって地域社会全体でこどもや子育て家庭の応援ができる社会づくりに取り組むことが、今、何よりも求められているのだと思います。

今年度の活動内容について報告書として取りまとめましたので、県民の皆様には、ご覧をいただいたうえで、キャンペーンの趣旨をご理解いただき、未来を担うこどもたちが健やかに育つことができるよう、引き続きのご支援とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 井奥 和男(社会福祉法人 高知県社会福祉協議会会長)

ご協力ありがとうございました

募 金

土佐ガス株式会社さま
明治安田生命保険相互会社さま
株式会社ポーラ四国ユニットさま
その他募金をいただいたみなさま



子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村等の公的機関だけで行えるものではありません。わたしたち一人一人が、「子育てにやさしい社会」を作ることが、子ども虐待の防止につながります。オレンジリボンは、子育てをあたたく見守り、お手伝いする意思のあることを示すマークなのです。

■ 共催 高知県

■ 後援

高知県内 各市町村

高知県教育委員会

高知県警察

高知地方方法務局

高知県民生委員児童委員協議会連合会

高知県人権擁護委員連合会

高知県少年補導育成センター連絡協議会

高知県里親連合会

高知縣市町村社会福祉協議会連絡会

高知県保育士会

高知弁護士会

高知県医師会

全国児童家庭支援センター協議会

子どもの虹情報研修センター

認定NPO法人カンガルーの会

子育て支援ネットワークほっとぽーと高知

高知大学

高知県立大学

高知学園大学

高知リハビリテーション専門職大学

高知学園短期大学

高知県立幡多看護専門学校

高知医療学院

高知福祉専門学校

高知健康科学大学

平成福祉専門学校

龍馬看護ふくし専門学校

四万十看護学院

NHK高知放送局

KUTVテレビ高知

KSSさんさんテレビ

RKC高知放送

高知新聞社

朝日新聞高知総局

毎日新聞高知支局

読賣新聞高知支局

■ 主催 高知オレンジリボンキャンペーン 2024 実行委員会

社会福祉法人高知県社会福祉協議会・高知県児童養護施設協議会・高知県児童家庭支援センター協議会
実行委員長／社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 会長 井奥 和男

* 子どもや家庭のことで、困っていることや心配なことがあれば、お気軽にご相談ください *

児童家庭支援センター
高知みその

TEL 088-872-6488
高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター
高知ふれんど

TEL 088-803-5550
高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター
ひだまり

TEL 0889-20-0203
高岡郡佐川町甲1110-1

児童家庭支援センター
あいどう

TEL 0887-50-5730
香南市夜須町西山1319-1

児童家庭支援センター
ぶらうらんど

TEL 0887-37-9915
安芸郡田野町字上ノ岡4462-58

児童家庭支援センター
わかくさ

TEL 0880-31-0311
四万十市安並850-2

* 虐待かな？と思ったら、各市町村窓口・児童相談所に連絡してください *

高知県中央児童相談所

TEL 088-821-6700
高知市若草町10-5

高知県幡多看護児童相談所

TEL 0880-37-3159
四万十市渡川1丁目6-21

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や、連絡内容に関する秘密は
守られます。

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

いち
1
はや
8
く
9

- 365日24時間受け付けます
- お近くの児童相談所につながります
- 通話料は無料です

児童虐待かも…と思ったら、すぐにお電話ください

○親子のための相談LINE

子育てに対する不安や家族関係の悩みなど、子どもに関わる保護者の方や子どもからの相談を受け付けています。

